



忍

堕ちて

クノイチ

×

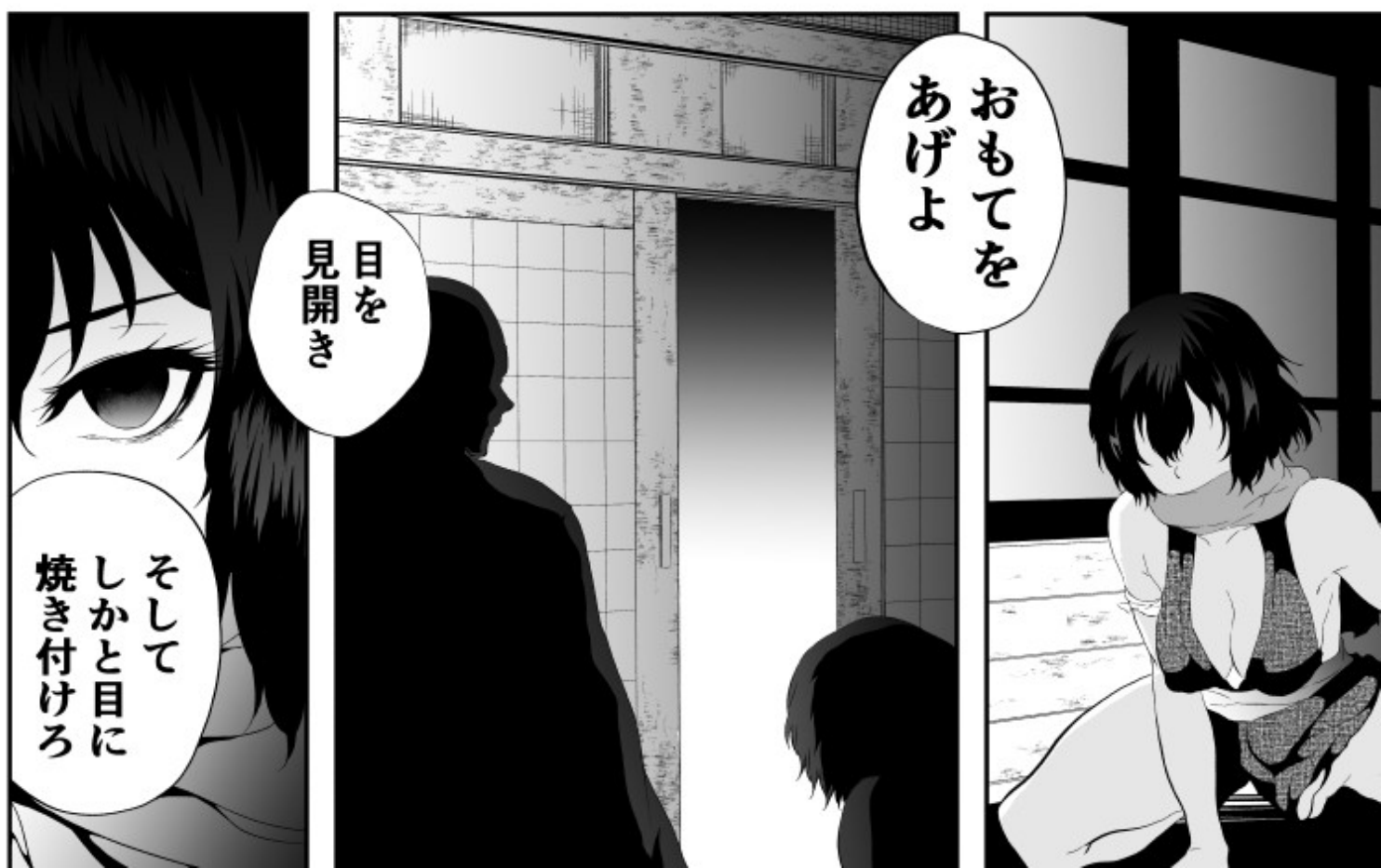
凌辱


忍

墮ちて

「起」








あれが
我らが命を
賭して守り

仕える主だ

その日は
満月だった



月明かりに
照らされて

若様の顔が
あまりに
白く柔らかく

なぜかー

私の身体に温度が
広がったのを
よく覚えてる



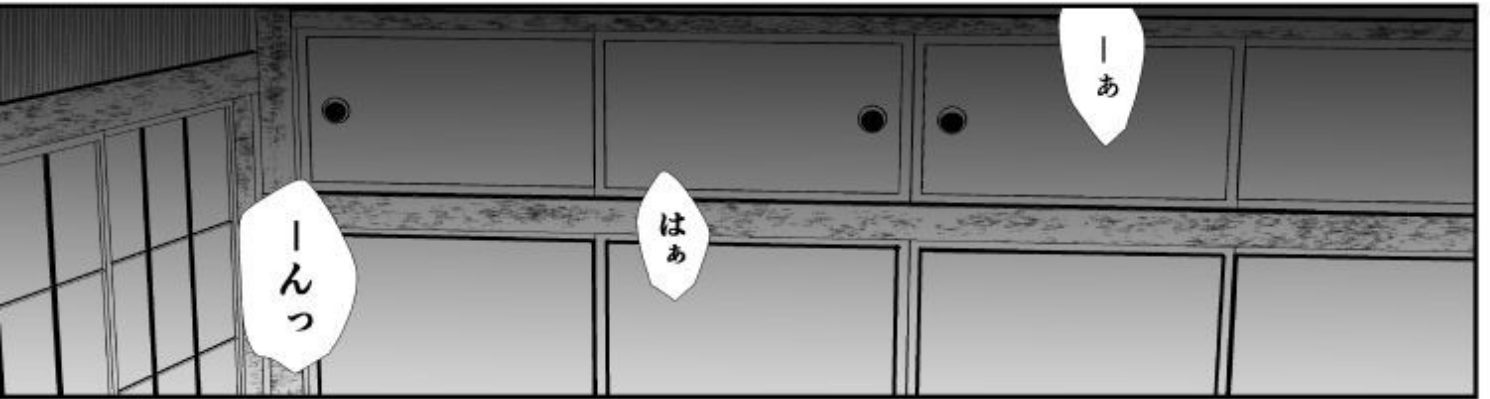




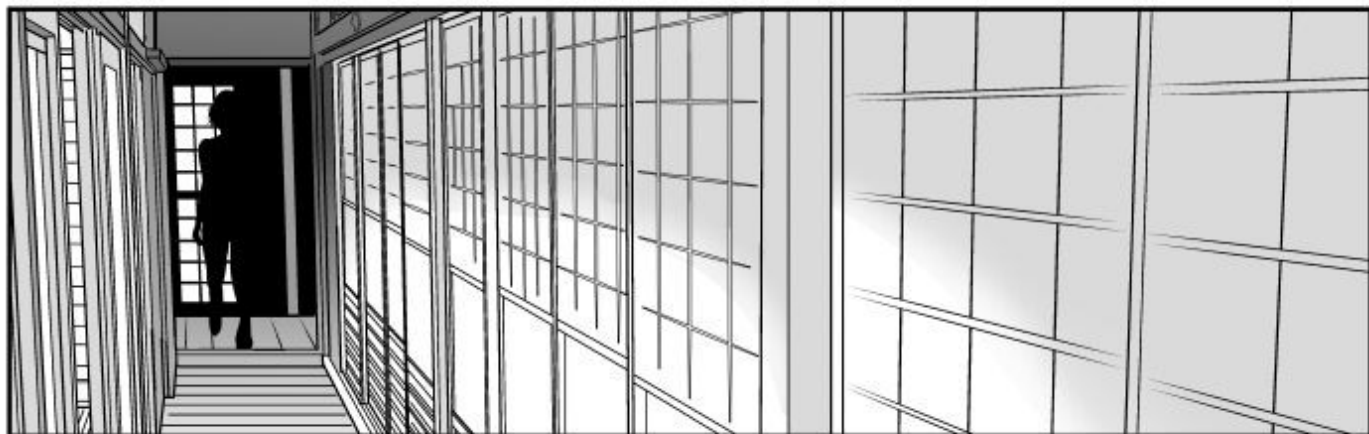


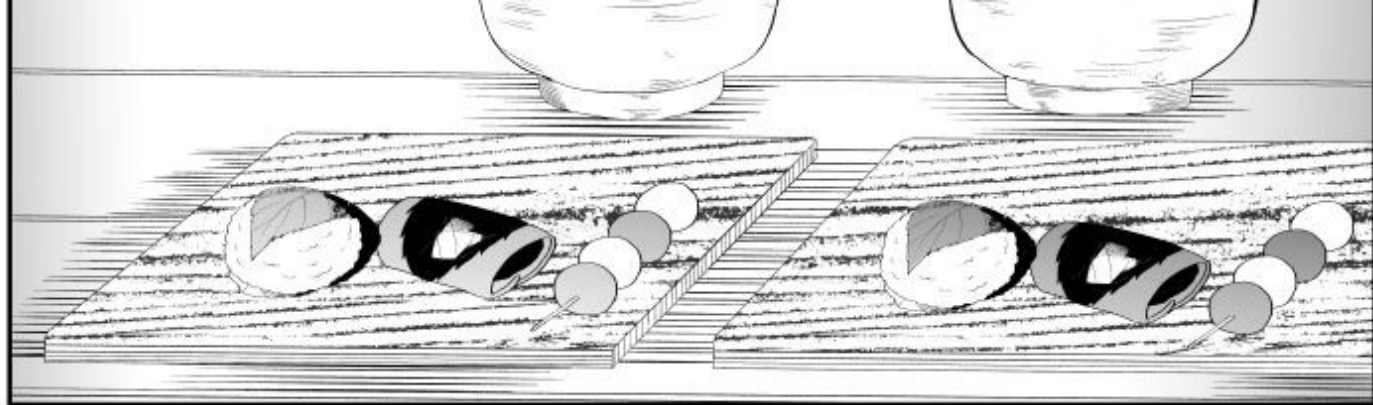






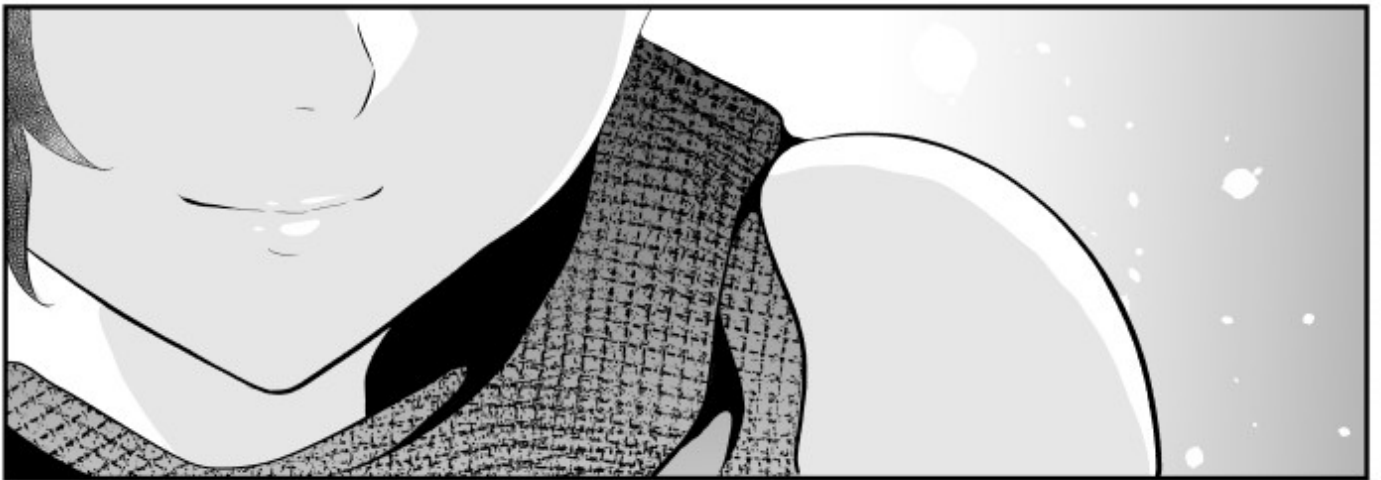
一苦いoooo







ひとりより
誰かと
頂く方が
風情であらう




甘いです…

忍


墮ちて

「承」






名は
なんとという？




名は
ありません

ただの
くのいちです




イ・チ・



其方の名だ

……え？



名が無いのは
不便なのでな

くのいちの
下の方を取り
いちだ



参ったな



すまない
少し安直
過ぎたか？

い：いえ
そのような事は！



少し高揚
してしまった

年が近い者と
久々に話した
せいか



許せ

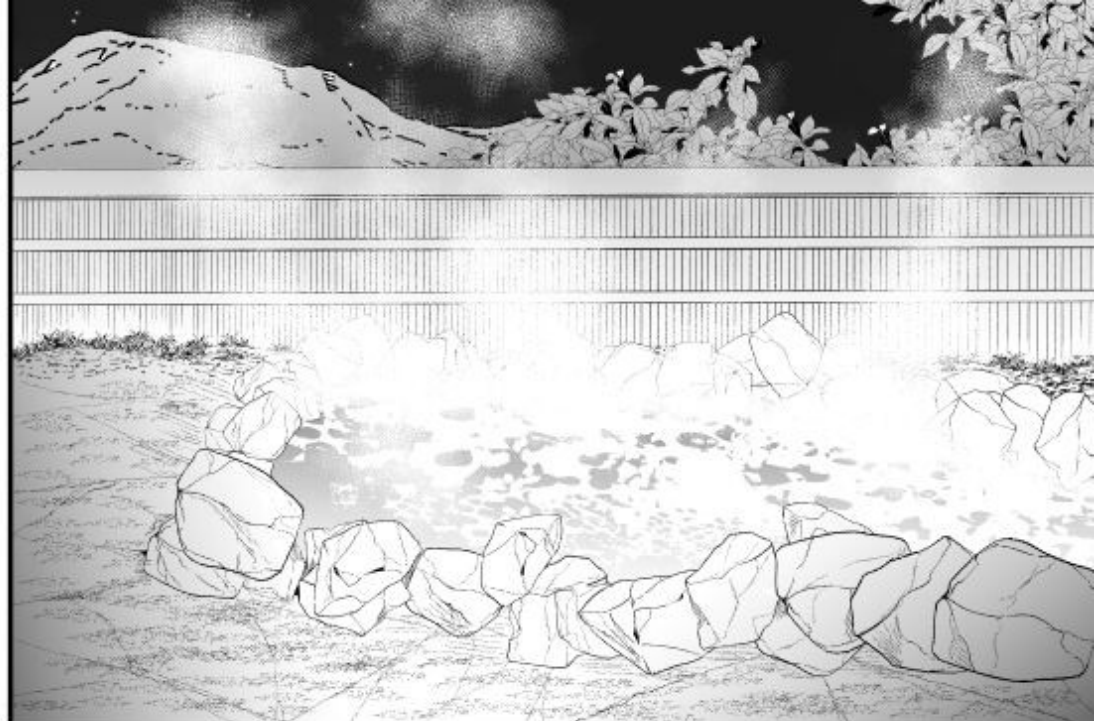
それが！

若様と
始めて

会話を
した日のこと









ああ
謀報者の
報告で明らかに
なった

こちらの
状態が
漏れている

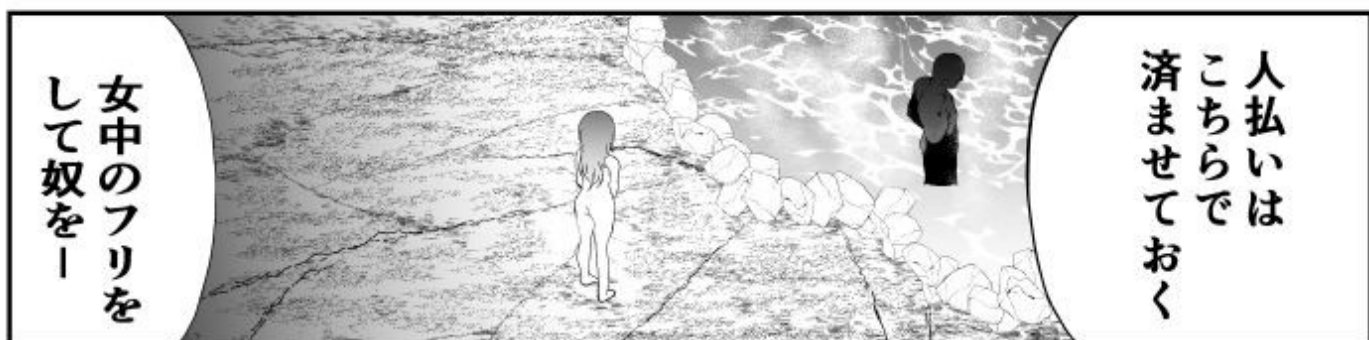
…して
内通者は？

家臣だ
大方恨みが
原因だろう

奴は夜
浴場に入る
女中と共にな



暗殺
ですか…



人払いは
こちらで
済ませておく

女中のフリを
して奴を！



始末しる



悪鬼羅刹と
見間違ふことも
あらあ

ハハハ
ちと酔ったな

しかし
お前さん！



女と
いうのは
怖いねえ

花や蝶の
ようでいて



その被り物
よく似合って
いるなあ





何故作戦が
バレている?!



いや違う
何故忍びが
奴についてる?!

まさか—







ヒッ

ハア...

ハア...

ヒッ

...
ッ

...
う

ヒッ



チヨッ



若様

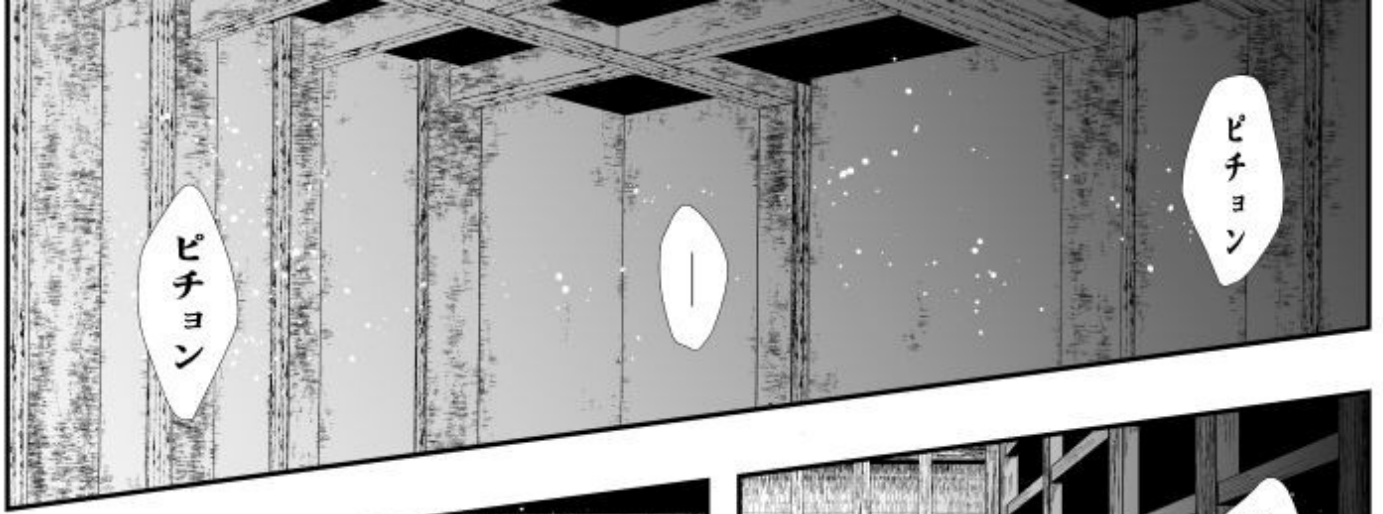
忍

随

ちて

「転」









城の中に
抜け道が
あることは
存じている

有事の際に
逃げられる
ようにな

だがそれは
都合が悪くてな

今回の戦は
生存者を
出しては
いけないのだ
なぜなら
生存者から
家臣の裏切りが
バレた場合

仇討ちと
評して
他の大名が動く

大義名分を
つくること
になりかねん

理解
出来るな？

ーぐっ！



フッフ
成程



本当は
怖くて怖くて
堪らないって
わけ……

随分
肝っ玉が
小さいこと

ちゃんと
夜寝られる？

童のように

子守唄が

必要なんじゃない？

がっ！
!!



ごぼっ！

ごぼっ！

おえ

ッあ

吠えるでは
ないか

ならばー



慰めて
もらおうか

可哀想な
童を



貴様は
本当に「恩」を
感じているのか？

はあッ

あッ
あッ

な…に

ならば
聞こう

なぜ今
貴様は拷問を
受けている

ゴッゴッ

知

知

ゴッゴッ



言葉の意味が
理解
できないか？



忠義ある
忍びが
囚われた場合



自害だよ



情報の
漏洩を
防ぐために

とる行動は
ひとつ！





貴様も
コチラ側に
つかないか？



ちがっー

ち…



ぐっ



どうだ？



貴様の
城での扱いは
存じている

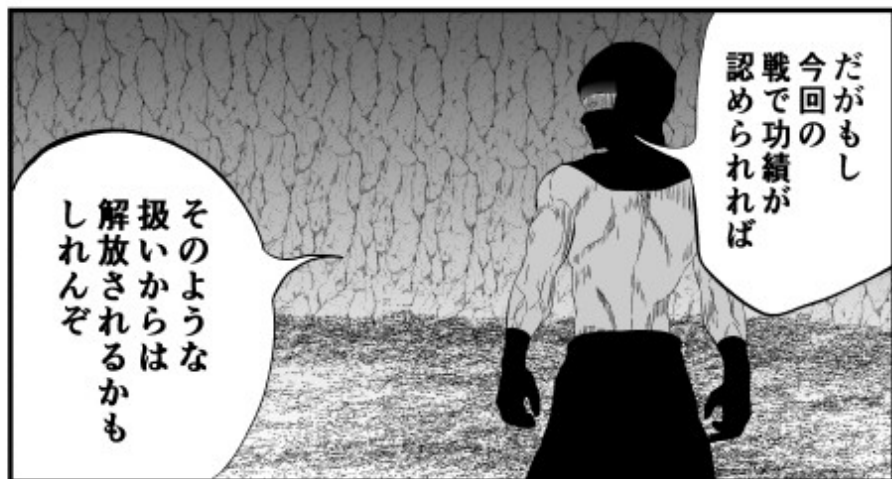
夜な夜な
当主や家臣達の
慰め者に
なってることも

男と違わぬ
任務を
こなしてる
ことも



年頃の
おなごみたく

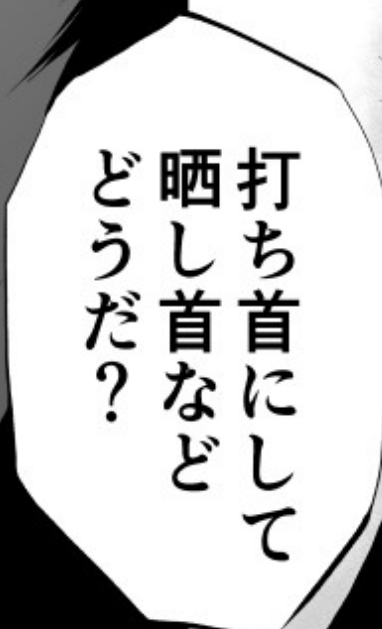
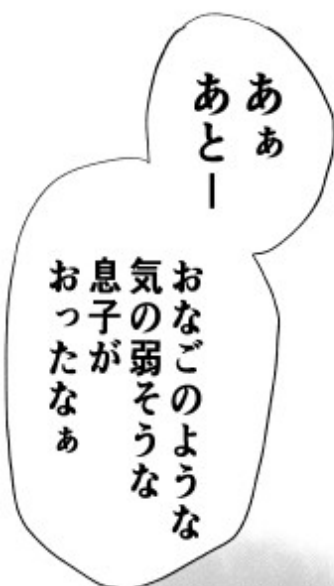
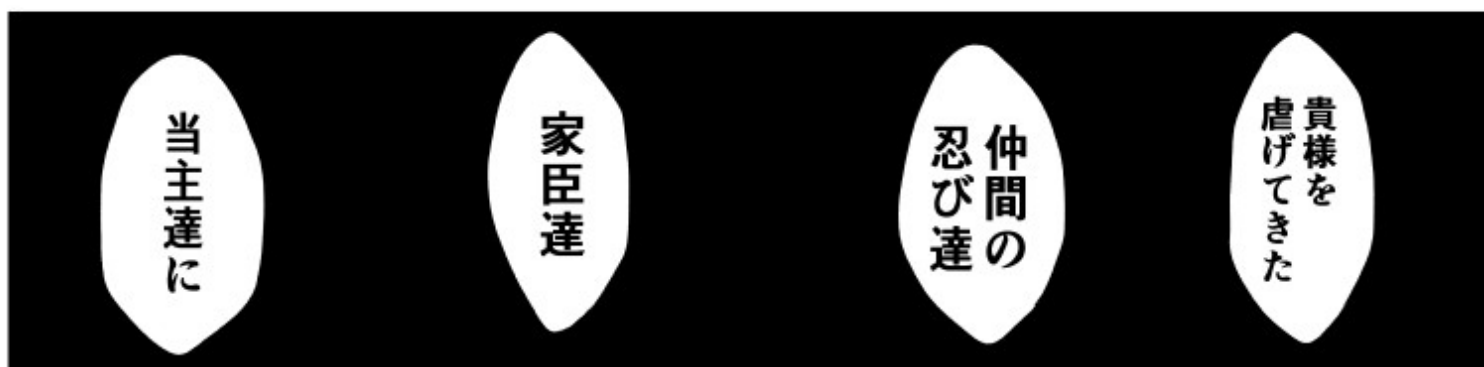
櫛やかんざしで
着飾ってみたくは
ないのか？



だがもし
今回の
戦で功績が
認められれば

そのような
扱いからは
解放されるかも
しれんぞ







フフッ

あはは



なんだと？

気を付けた
ほうが良い

喋れば
喋る程！



よくまあ
ベラベラと
舌だけは回る

商人の方が
向いているん
じゃない？



小物
ぶりが

バレて

しまおうぞ♡

そうか

命は
捨てたと
見るぞ

オンナ



で結局情報は聞けずしまいか

くはは相変わらず貴様はオンナにモテんなあ

なんだと

仕方あるまいて幼少の頃から鍛錬を積んでる忍びだ

俺達のような雇われの忍びとは違う

しかし雇い主には報告はどうする？

舌を噛み切ったとでも伝えとけ

はッ

んくッ

ふうッ





あの
くのいちが
どうする？

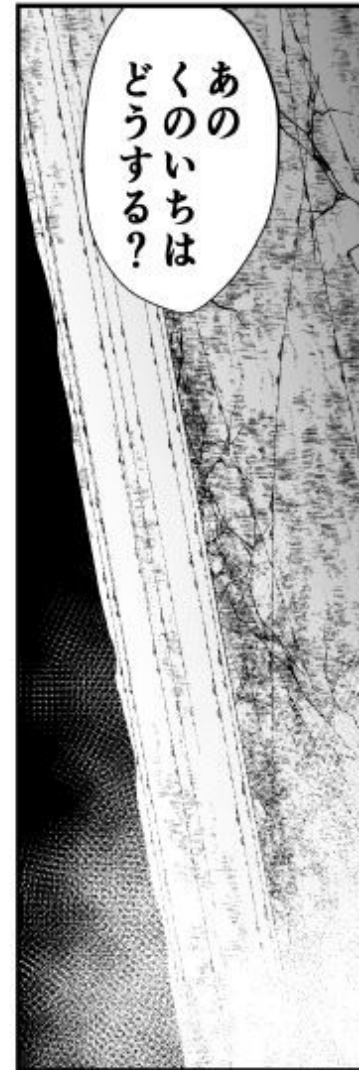
三日三晩ヤッて
捨ておけば
勝手に
くたばるだろ

ツッあ！

んッ

はッ

オンナを
買う銭も
浮くしな



良いのか？
そろそろ
戦が始まるぞ

それこそ
捨ておけ
安い銭で
雇われただけだ

んふっ

ツッ

義理は
ねえよ



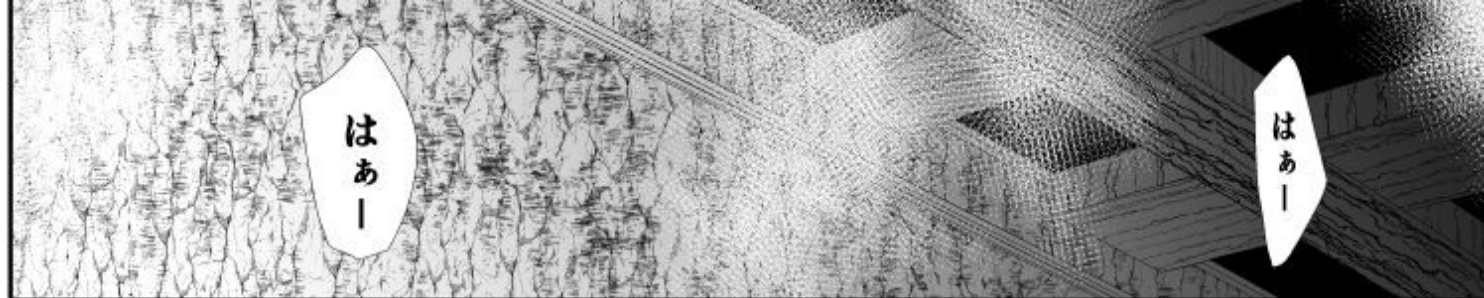




うっ

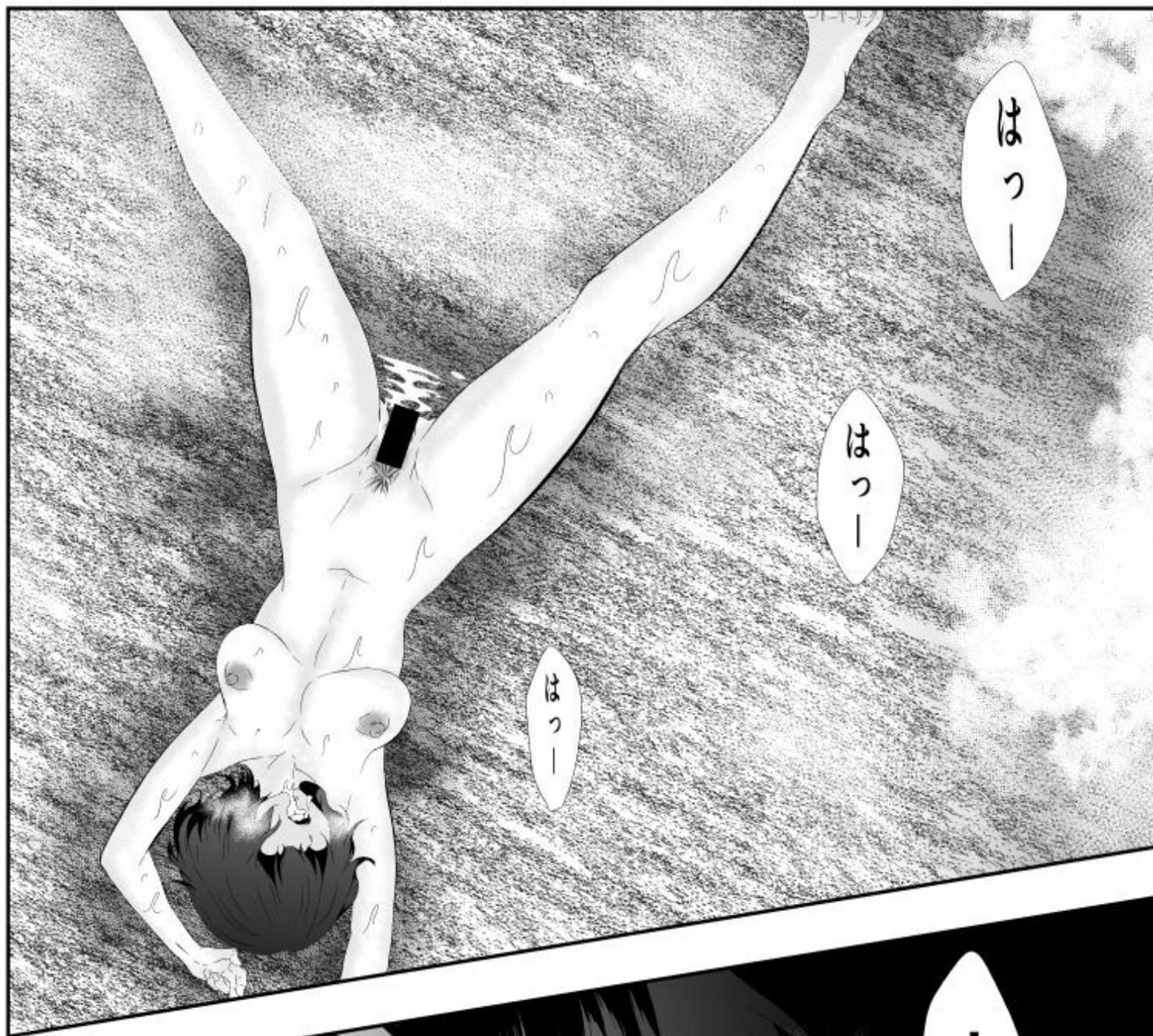
ウッ

ウッ



はあー

はあー



はっー

はっー

はっー



—

忍



堕ちて

「結」





—どれくらい
時間が経った？

オイー

ー

ー

コイツもう
ダメじゃ
ねえか？

反応が
ねえ

ああ
飲まず食わずで
ヤラれてればな

そんな
ことより
さっさと
合流しよう

サボってたのが
バレると
大目玉だ
報酬も貰えん

そんな時はよ
死体から
金目のモノ
ぶんどるさ

こうやって
ズバッとてー



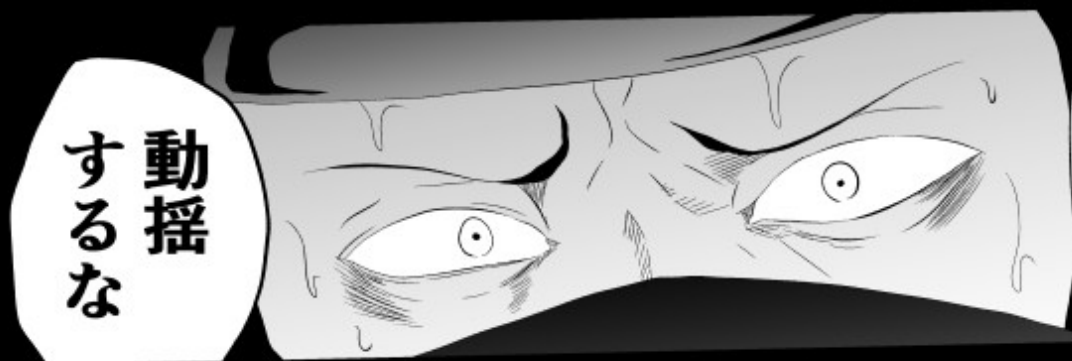




忍びが

あああああ!

うわっ!!

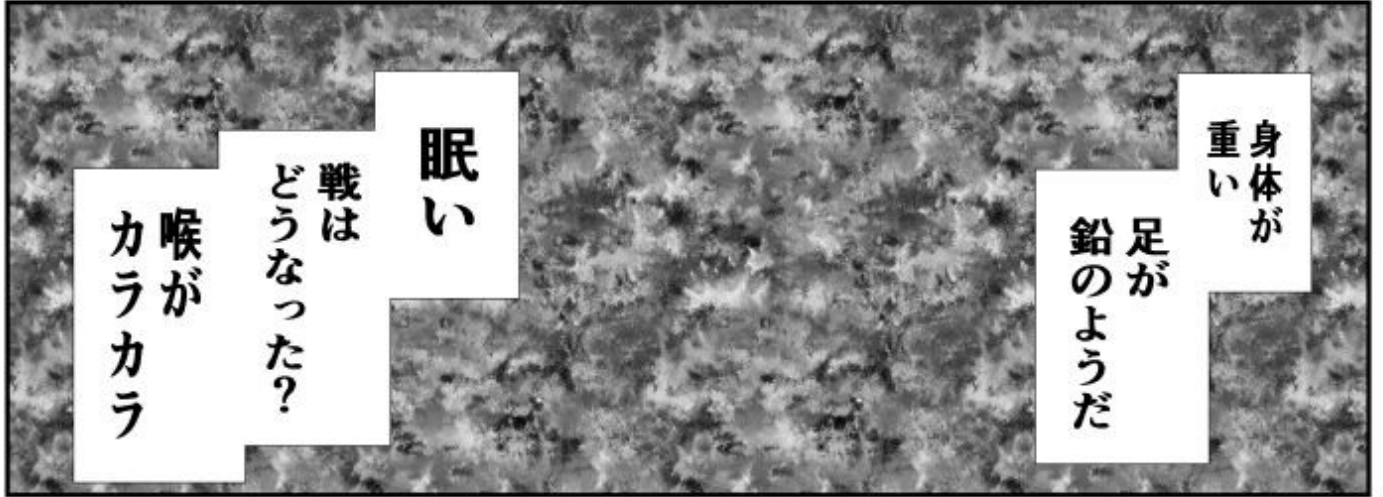


動揺
するな

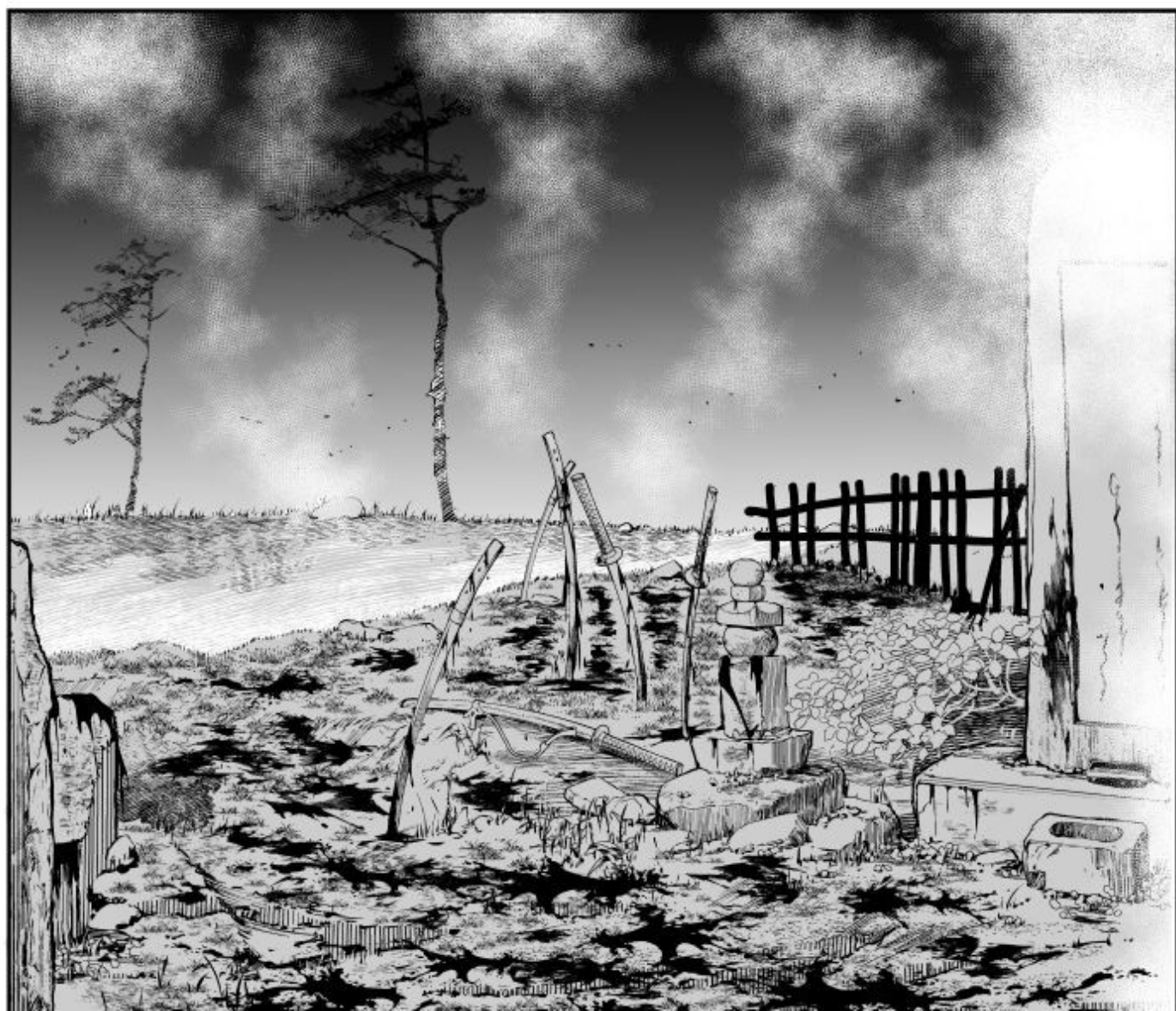
命の
やりとりの
最中に



小物が











若様!?

世が
世なのだ

口八丁
嘘も方便で
いかねばな



しかし何故
忍びである
私にこんな
手厚い扱いを

私の
お気に入りの
女中だと
伝えたのだ



そんな
適当な...

そうだな



たぶん
そんな
生き方だから

腹を斬る
覚悟も
持てなかったの
だろう



父上と一緒に
腹を斬る
覚悟もない

命がけで
お主は
戦ったのになあ



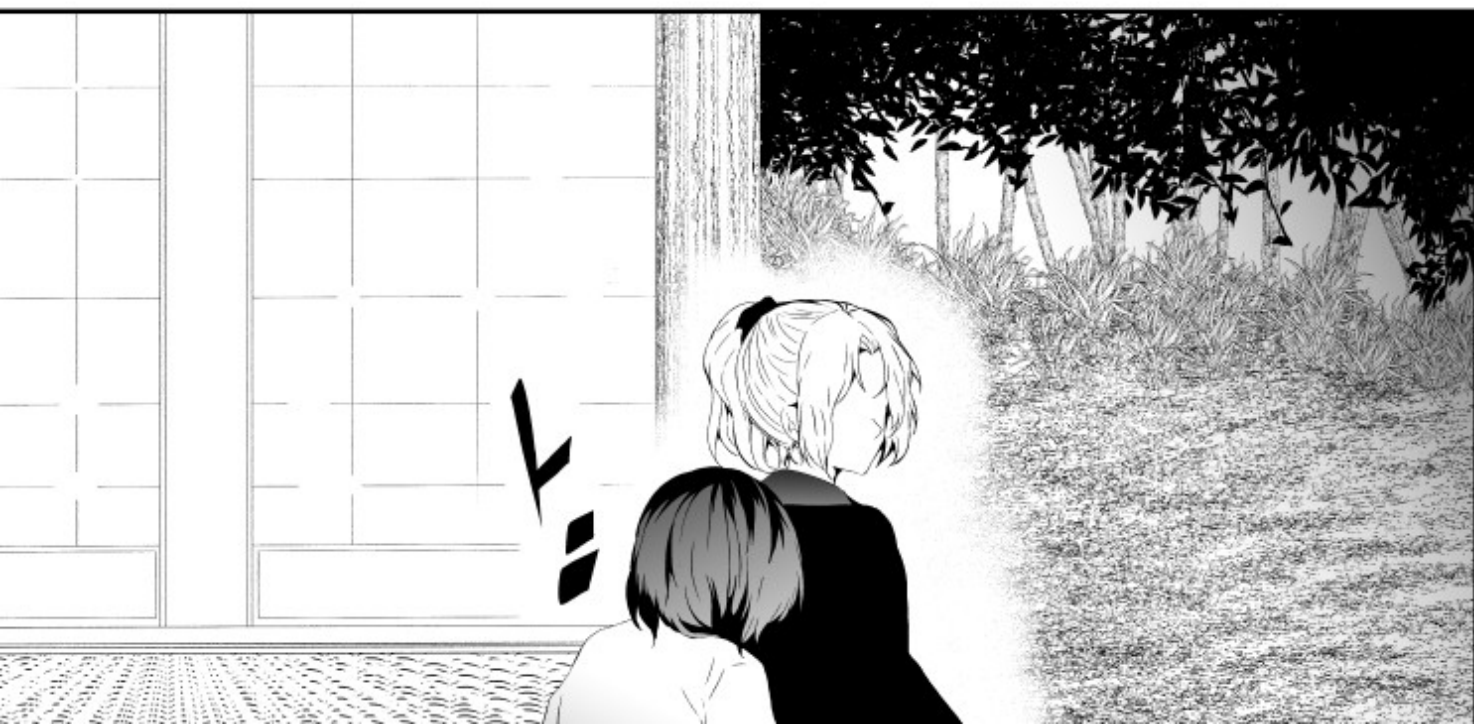
家臣達から
抜け道を
促された時

私は安堵
したので

して
しまったのだ



申し訳ない…



私が囚われても
生き残ったのは
死ぬのが
怖かった
からです

自分の
命を優先
しました
忍び
失格です

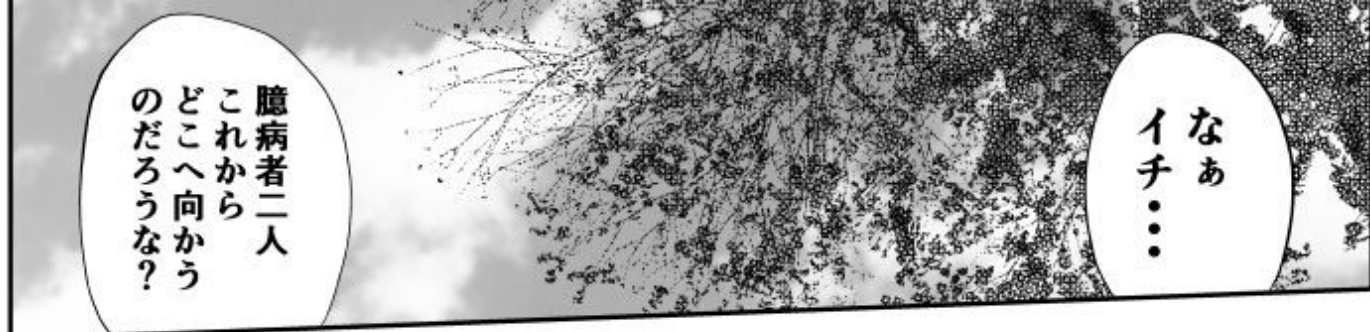
だから…

キッ



ままならぬ
ものだな
お互い

…そうか



彼の顔を
言葉を
交わすと





この熱に
名をつけるなら
なんだろうか？

忍

恋に

堕ちて

終

ご購入
ありがとうございます

※この物語はフィクションです。

実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません

本作品の無断転載・加工・複製を禁じます。

尚18歳未満の閲覧・購買は禁止です

サークル

Aries